

## 【セミナー】

### 個と個をつなぐ検索システム

# NapsterとGnutellaの 情報共有



ここ数か月、新興のソフトウェア会社が開発した「Napster」(ナップスター)が「匿名ファイル交換ソフト」として海外のニュースをにぎわしている。同時に音楽再生ソフトWinampの開発元で、現在はAOL傘下のNullsoftが開発した「Gnutella」(グヌテラ)もまた、同様の注目を集めている。この2つは、単なる違法コピー用のソフトなのだろうか？ここではその可能性について探ってみることにしよう。

本田雅一

## N A P S T E R G N U T E L L A

### ウェブが抱える問題

NapsterとGnutellaがどのようなソフトウェアであるかを話す前に、これらが登場してきた背景について説明しよう。

現在のインターネットは、ウェブを中心に形成されていると言っても過言ではない。ウェブはさまざまな情報を蓄積し、あるときはアプリケーションとしても機能する。そして、世界中に点在するウェブはリンクによって緊密に、蜘蛛の巣のようにつながっているように「見える」。

しかし、実際は多少異なるのではないが、我々はインターネットから情報を取り出すとき、どこか情報のありかを示してくれる大手のサイトに赴き、情報をさまざまな手段で検索してから目的地に達する。サイト間の相互リンクよりも、大きな中心となるサイトから枝葉に分かれるようなインターネットの歩き方が一般的だ。

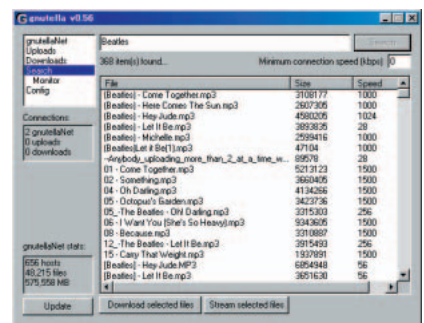
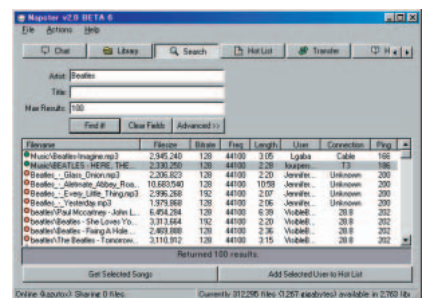
ところが、中心となる大手のサイトは1つではなく、世界中にいくつも存在する。ウェブの構造は、あまりに大きく複雑になりすぎた。リアルタイム性にも乏しく、必ずしも最新の情報を探せるわけではない。このままインターネットが成長するためには、もっとシンプルに情報を束ねる仕組みが必要だろう。今のままでは、いくら情報が膨張しても、ユーザーの手元まで届きにくい。

### MP3 違法コピープログラム？

Napsterは、コミュニティに参加するメンバーとさまざまな情報交換を行うためのツールだ。参加登録を行うと、そこではさまざまな話題でチャットが行われている。そして参加者同士でMP3ファイルの交換もできる。参加者同士のプライバシーは守られるとNapster社は主張しており、匿名性からNapsterを用いて音楽ファイルの違法な交換がさかに行われている。

そのため、違法コピーの場を提供しているとして、Napster社は全米レコード協会などから訴訟を起こされている。Napster社は「ゼロックスで写真や本を違法コピーする人がいたら、ゼロックスを訴えるのか」という論法で対抗している。罪は利用者であり、道具を提供する側を訴えるのは筋違いというわけだ。Napster社は音楽アーティストからの訴えに応じ、特定アーティストのファイルを交換していたユーザーを除名したが、全米レコード協会はNapsterの全サービスを禁止する仮処分を請求している。

Napsterと比較されることの多いGnutellaは、音楽など特定のテーマを持たず、ファイルというファイルはすべて匿名で交換可能というツールだ。AOLは、傘下のNullsoftが開発したGnutellaを公開したあと、24時間で配布を中止させたが、瞬く間に広がり、プロトコル



Napster(上)とGnutella(下)で「Beatles」を検索したところ。MP3ファイルが瞬時にリストアップされる。

を解析されてより強力なツールへと進化しようとしているJumpo2。

GnutellaはNapsterとは異なり、特定のサーバーに接続する必要はない。誰でもいいからGnutellaを使っているほかのユーザーを探し(探すためのリストも公開されている)、そのコンピュータに接続する設定を行う。Gnutellaは「友達の子は知り合いじゃないけど友達」というルールでファイルを交換する。つまり、接続先がさらに接続しているコ

ンピュータ上の共有ファイルにもアクセスできる。しかも、特定のサーバーに接続する必要がないため、ほぼ完全な匿名性がある。

こうしたソフトウェアについて考えるとき、「違法コピーの道具」という現状だけにとらわれてはいけない。NapsterとGnutellaは確かに音楽ファイルを違法に共有できるツールではあるが、これらが提示した検索システムは、現在のウェブが持つ問題を解決する可能性を持っているからだ。

### 両刃の剣が持つ可能性

NapsterもGnutellaも、接続されているコンピュータが提供する共有ファイルを検索できる。コミュニティに参加している最中は、誰かが自分の提供するファイルを取り出すかもしれないし、逆に自分が世界中のコンピュータから目的のファイルを取り出すこともできるわけだ。リアルタイム性の低い検索エンジンを使わなくても、コミュニティの中にある情報は、情報を提供しているコンピュータがその所在を教えてくれる。

つまり、検索ポータルや何らかに特化したポータルなしでも、デスクトップ上で情報をリアルタイムに検索可能になるのだ。Gnutellaの開発グループは、HTMLファイルやワープロ、表計算などの文書を検索する機能を提供しようとしている。Gnutellaが作るコミュニティがインターネットに広がれば、ユーザーはポータルを必要とせず、直接インターネットの情報へとアクセスできるようになるわけだ。このことは情報発信者にもメリットがある。ポータルに登録しなくても、コミュニティに接続して情報共有の設定さえ行えば、だれでも検索の対象となれる。

こうしたソフトウェアが違法なファイル交換に便利なことは確かだが、同時にウェブに代わるコミュニティを構築するための道具ともなり得るのだ。そうした意味で両刃の剣であり、違法な利用を排除できていないという点で、現時点では未完成のアプリケーション

ンであると言えよう。しかし、個々のコンピュータが対等に向き合ってコミュニティを形成するという考え方は、今後のインターネットのあり方に影響を与えるはずだ。

ポータルを中心にした現在のウェブは、ユーザーが百貨店や商店街に出かけ、そこでさまざまな情報や商品を探すのに似ている。人々がポータルに集まるからこそ、そこに大きな経済効果の発生を見込んで投資が集まっている。

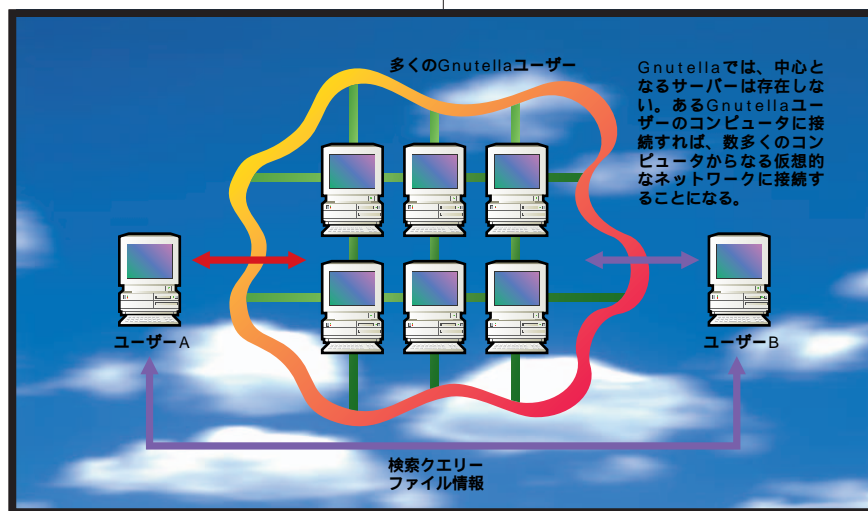
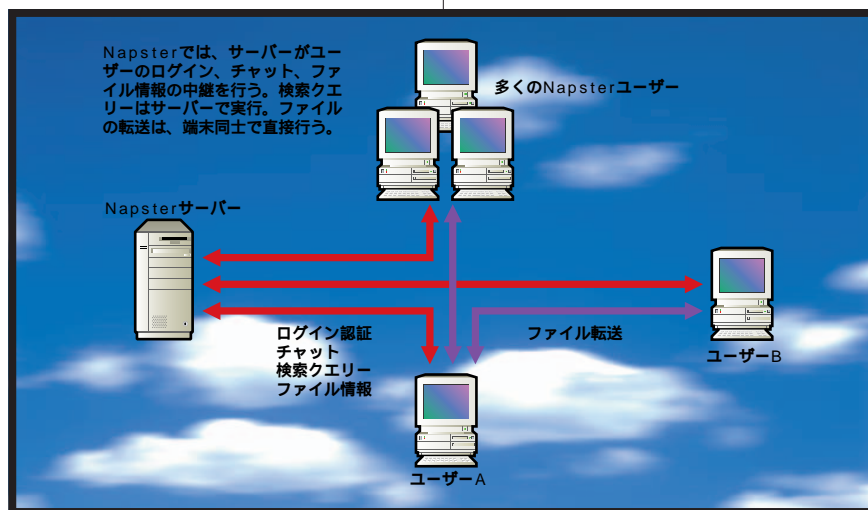
これに対してNapsterやGnutellaでは、自宅で「こんなものがほしい」と声を出すと、世界中から該当するもののリストが集まる。ユーザーはわざわざ「お出かけ」しなくても

いい。情報発信をしたければ、検索の要求に対して自ら「こんなものがある」と言ってほかのユーザーに直接提供すればいい。

Gnutellaを改良しようとしているグループがいるように、こうした方向性を元にしたアプリケーションが発展すれば、検索エンジンやポータルサイトを中心に形成されている現在のウェブが、古くさいものになるだろう。そのとき、インターネットの使われ方、人の流れ、情報の流れは、まったく異なったものになっているはずだ。

Jump01 [www.napster.com](http://www.napster.com)

Jump02 [gnutella.wego.com](http://gnutella.wego.com)





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)